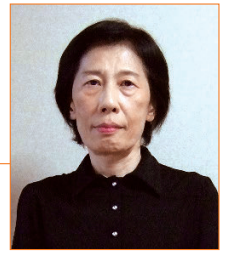


活動発表

ユニバーサルデザイン(UD)研究会10年の活動

常俊 桂子 [兵庫県建築士会女性委員会UD研究会 世話人、アトリエツネトシー級建築士事務所 主宰]



UD研究会ができたきっかけ

平成15年、設立から20年の兵庫県建築士会女性委員会は組織変更を行い、3部会制（女性部会、研究部会、普及啓発部会）で再スタートすることになった。さて、研究部会のもとにどんな研究会をつくらうかという時、2年後にユニバーサルデザイン(UD)全国大会が神戸で開催されることになったとの情報が入った。平成7年、阪神淡路大震災を経験した兵庫は、非常時だけでなく、普段から多様な人々を意識したまちづくり、住民の意識づくりが必要なことを学んだこともあり、私たち地元の建築士もUDの考え方を身につけ、仕事に活かし、地域への普及啓発等を行って、ユニバーサルな社会づくりに貢献できればと、平成15年6月、UD研究会を立ち上げることになった。爾来、年間約10回の定例会をもち、昨年秋に第100回を迎え、平成25年の今年、設立から10年が経過した。

UD研究会の活動ピックアップ

■平成15～17年／UD検証活動

多様な人（高齢者、障がい者のほかに、妊婦、乳幼児連れ、子ども、日本語がわからない人、など）ごとに特徴・特性を調べ、それぞれ建築空間や公共交通空間

にどんな問題があるか掘り起こし作業をし、実際に各地に出かけて、独自で考えたキーワードをもとに検証を行った。また、一施設という「点」だけの検証でなく、建物や交通機関とのつながりも含めた「面」としての検証もしてきた。

■平成17年／UD全国大会に参加

1月、全国大会会場となる神戸国際展示場の「UD視点に基づく現状調査」を受託。

8月、2年間にわたる定例会と見学・検証の集大成として8枚のパネル「建築空間におけるユニバーサルデザイン」を作成し、大会会場に展示した。この内容は、のちに兵庫県建築士会会報に半年にわたり連載され、冊子にして各所に配布した。

■平成18～21年／住宅づくりの冊子『UDの視点から探る住み続けることが可能な住宅の基本』作成

続く1年は冊子を使ってのセミナー・研修会（建築士対象、一般市民対象）を開催した。

■平成22年～24年／まち（観光地）のUD検証

北野異人館街、有馬温泉、六甲山、舞子公園、王子動物園、須磨海浜水族園など。

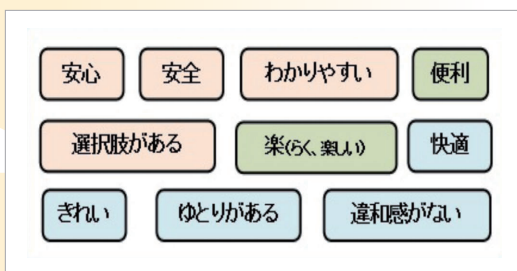
自治体等と連携しての活動ピックアップ

■平成15、17年／市民対象のUDセミナー・ワークショップ（神戸市住まいの安心支援センター）

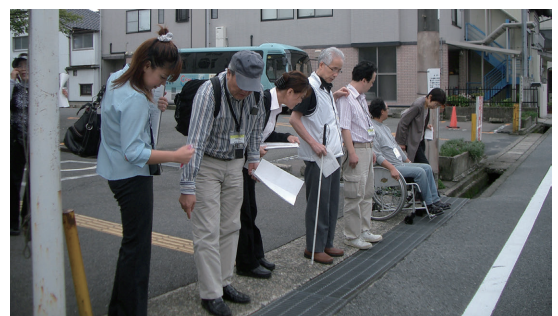
■平成18、19年／神戸市立高羽小学校UD授業（神戸市都市計画総局）に企画から参画。5・6年生対象に、延べ48時間の授業を地域の人とともにサポートした。

■平成19年4月／より幅広い実践活動を行うため「UD建築研究会」を別に発足させ、継続的に研究活動しているUD研究会と連携しての活動を開始。県内ユニバーサル社会づくり推進地区11カ所でのバリアフリーマップづくりのための現地調査指導、まち歩きなどで、車いす利用者・視覚障がい者などと共にUD検証する機会が増えた。県の福祉のまちづくりアドバイザーにも登録、活動中。

これまでの活動を通して、私たちは建築士としてハード面の向上に努力するとともに、多様な人への「思いやりの心」を大切に、日々の仕事に取り組みまねばと切に感じている。



●独自に考案したUD検証のためのキーワード



●UD検証の様子